

キャンパスライフ ゼミ紹介



専門性の高い教員を目指して

自然科学専修数・整分野二宮裕之研究室

四年 門叶 翔汰

教職大学院二年 宮武 昌杜

算数・数学分野には、代数学、幾何学、解析学、離散数学、数学教育学のゼミがあります。二宮ゼミは、数学教育学を専門とし、算数・数学教育の理論・実践について、各自の研究テーマをもとに二宮先生から熱心かつ親身なご指導をいただいています。

二宮ゼミでは、学部生に加え、院生や現職の先生方とともに、自主ゼミと本ゼミの週二回活動しています。自主ゼミでは学生・現職教員のみで、ゼミでの発表レジュメの検討や、数学教育に関するディスカッション、教材研究を行っています。本ゼミでは各自の研究成果を発表し、二宮先生からご指導をいただくことで、卒論、修論の作成に向けて日々研究を進めています。学年を超えた縦のつながりがあることは、二宮ゼミの大きな魅力です。

また、二宮先生がご指導される授業研究会に参加することで、学生のうちから現職の先生方の授業を数多く参観することができます。加えて、教育実習や実地研究での

研究授業のご指導もいただき、理論だけではなく実践の部分でも学びを得ることができることは、教員志望の学生にとって大変有意義です。

大学院生の多くは、各自の研究の成果を学会で発表することにも取り組んでいます。全国から集まる多くの参加者の前で発表するのは非常に緊張するもので、大学院二年生になった今も、その緊張感には慣れる気がしません。しかし、他大学の先生方からご意見をいただける貴重な経験となります。

その他にも二宮ゼミでは、季節毎の懇親会でゼミ生の交流を深め、年末の「新算数教育研究会湯河原セミナー」は様々な学びを得るとともに、忘年会を存分に楽しめる二宮ゼミの一大イベントになっています。

このように二宮ゼミでの日々は、教員を志すゼミ生を大きく成長させてくれると感じています。



ゼミの絆はピカイチ

特別支援教育コース三橋翔太研究室

四年 佐々木 隼太

私たち三橋ゼミは、四年生五名、三年生五名の計十名から構成され、主に心理学を専門的かつ実践的に学んでいます。ゼミ生同士の距離が近く、学年の垣根を越えて協力し合える雰囲気魅力です。三橋先生の温かく丁寧なご指導のもとで、互いに刺激し合いながら心理学や教育への探求心を育てています。

本ゼミの大きな特徴は、卒業研究において、全員が実際のデータ収集から分析までを行う点にあります。他のゼミでは文献研究が中心となる場合が多い中、私たちのゼミでは、大学生や知的障害児の方々を対象にアンケート調査や様々な検査を実施し、その結果を基に分析・考察を進めていきます。実際の現場でデータを取ることは決して容易ではなく、思うような結果が得られなかったり、調査先までの移動や準備に多くの時間を費やしたりと、壁にぶつかることも少なくありません。そんな時はゼミ生同

士で助け合い、三橋先生からアドバイスをいただきながら一つずつ乗り越えていきます。実践を通じた学びが深まるほど、教育現場の奥深さや複雑さを実感し、研究の意義を強く感じます。

また、三橋ゼミは研究だけでなく、ゼミ生同士の仲の良さも自慢です。打ち上げやゼミ旅行など、学び以外の場でも多くの時間を共に過ごし、苦楽を分かち合ってきました。お互いを支え合いながら研究を進めてきた経験は強い絆を生み、失敗を恐れず安心して挑戦できる雰囲気を作り出しています。

三橋ゼミでの調査や共同作業、仲間との深い関わりを通して、「教育に携わることの意義」を実感し、現場に寄り添う姿勢を身に付けることができました。ここで得た学びと経験を、私たちはこれからの教育現場で活かしていきます。

